

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労支援事業所ノースリーフ	事業所番号	0113200984
住所	北海道士別市大通西8丁目2941番地	管理者名	橋本憲幸
電話番号	0165-26-7886	対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：JA北はるか下川支所麦乾施設、フルーツトマト選果施設、そば乾燥施設、青果物選別施設（ネギ結束）</p> <p>実施期間：7月～10月</p> <p>利用者人数：2名～6名/1日</p> <p>麦乾施設：生麦の受入業務</p> <p>トマト選果：箱詰めされたトマト箱のバンドがけ</p> <p>そば施設：そば製品の麻袋ミシン縫いと麻袋の「はい積み」作業</p> <p>青果物施設：青ネギ結束作業、袋詰め作業</p>	<p><活動の様子></p>    
<p><目的></p> <p>障がいを持った方に作業を行ってもらうことで、障がい者雇用についての理解度を深めてもらう。また、道北地域における農業関係の「労働力不足」は顕著であり、障がい者は貴重な「人材」の位置づけとなりつつある。事務作業などの作業が苦手な方で、体を動かすことを希望されている利用者にとっては、作業の選択肢の幅が広がる。会社外でのコミュニケーション（JA職員やパートなど）も図れるので、社会性能力向上も可能となる。</p>	
<p><成果></p> <p>作業に関しては、利用者の特性を把握している弊社が、作業内容によって人を変えることや、JA職員の方たちの理解により作業の完成に貢献できていた。単純な作業が多いので、利用者が取り組みやすい環境になり、作業完成の際に「達成感」が得られる。体を動かすことを主にしている利用者にとっては自信が付けられる場にもなっている。ただし、作業内容によっては、職員の方や支援員が大きくフォローしなければならず、指導方法を含め改善が必要である。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

青果物の選果施設や農産物の乾い調整施設において、人口減少や高齢化による人材確保が難しくなっている中令和元年度より、ノースリーフと協議をして障がい者を使って、人材不足の改善を目指すこととした。

今年度は、更なる人材不足となったため、作業人員を増やし対応してもらった。作業中の様子は、まじめに作業をする方が多く、作業内容によっては既存のパートさんと変わらないスピードでやれる事もあった。

この先も、人材の確保は厳しいので、障がい者の作業人員は貴重な戦力として考えています。

連携先企業名	JA北はるか下川支所 営農販売課 農産係	担当者名	中澤 拓也 
--------	----------------------	------	---------------------------------------------------------------------------------------------